経口コレラワクチンの説明書
商品名：Dukoral

■コレラついて

コレラ菌の出す毒素による消化器感染症です。多くは無症候性か軽度な胃腸炎症状ですが、重症例では米のとぎ汁状の激しい下痢と嘔吐で脱水状態になります。

■感染経路

・汚染された水や食物を介して経口感染します。
・ヒトーヒト感染は大流行している時期でも稀のようです。

■流行地域

・発展途上国を中心に流行しており、アフリカで患者数が多いです。
・東南アジア諸国や中国でも発生しています。

■診断と治療

・渡航歴、臨床症状、便培養から総合的に診断します。
・最も重要なことは水分補給です。水が飲めなければ、点滴治療になります。
・重症例では抗菌薬を使用します。

■予防方法

・食事の前の手洗いを徹底する。
・加熱されていない食物やカットフルーツ、氷の摂取を避ける。
・ワクチンを接種する。

■ワクチン接種対象者

米国疾病対策予防センターが接種を推奨する国や地域に赴く方。

■ワクチンについて

・経口コレラは輸入ワクチンです。
・不活化ワクチンなので、ワクチンでコレラに罹ることはありません。
・最初の3ヶ月間は病原性大腸菌の腸炎（旅行者下痢症）に対する効果もあります。

	Dukoral（輸入ワクチン）
【製造会社】	Sanofi Pasteur
【適応年齢】	2歳以上。
【接種回数】	6歳以上は2回。2～5歳は3回。
【ｽｹｼﾞｭｰﾙ】	6歳以上は初回と2週間後（1～6週間後）。
【接種方法】	経口接種。
【持続期間】	2年間。
【追加接種】	5年以内なら1回内服。5年以上は初回と同じ。

■副反応

まれに下痢や腹痛が起こります。

■注意事項

過去に同ワクチンにアレルギーのある方、発熱、胃腸の病気、妊娠・授乳中、
免疫抑制剤使用中、2歳未満の方は接種できません。

■健康被害が生じた場合

輸入ワクチンでは輸入代行業者による副作用救済制度を利用できます。
ワクチン接種後に発生した副反応などの症状には適宜対応します。

Dukoralの服用方法

＜食事や他の薬を内服する前後1時間は避けて下さい！＞

パウダーを約150mlの水に溶かす。
（一気に溶かすと溢れる場合があります。）
6歳以上は②へ進む。
2歳～6歳未満ではこの液を半分捨てて②に進む。

ガラス容器の中身をよく混ぜる。
（この中身がワクチンです。）

ガラス容器の中身を①で作った液に入れる。
よく混ぜて飲む。
（混ぜた後は2時間以内に服用してください。）